



No.11  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
令和4年度第4回

よど がわ か せん こう えん  
**淀川河川公園**

**【再評価】  
参考資料**

令 和 4 年 1 2 月  
近 畿 地 方 整 備 局

「共通-様式1」  
検証対象公園

都道府市区町村名		大阪府枚方市		
部署名		国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所		
担当者名				
公園名		淀川河川公園		
住所		大阪府枚方市新町2丁目2番地		
供用 (予定)年度	部分供用	昭和48年度(太間地区、八雲地区、外島地区供用開始)		
	全体供用	令和13年度(予定)		
種別		都市公園法第2条 イ号国営公園		
施設魅力値	区分	部分供用開始時 (昭和48年度)	評価基準年 (令和4年度)	全体供用時 (令和13年度)
	自然・空間系	175,089	1,830,716	3,976,120
	施設系	1,983	5,494	5,494
	文化活動系	0	7,962	13,128
緑地面積(ha)		0.0	58.2	778.3
広場面積(ha)		16.7	182.9	354.6
防災拠点機能の有無		有	有	有
事業費 (百万円)	用地費	7,114		
	施設費	34,686		
	合計	41,800		
維持管理費※(百万円/年)		0	1,110	1,818

※割引前の値を記載







## 感度分析結果

### 【事業全体】

	変動ケース	費用便益比(B/C)
需要 (全事業)	±10%	9.6~9.7
事業費 (全事業)	±10%	9.5~9.9
事業期間 (全事業)	±10%	9.6~9.7

### 【残事業】

	変動ケース	費用便益比(B/C)
需要 (全事業)	±10%	1.8~2.2
事業費 (全事業)	±10%	1.8~2.2
事業期間 (全事業)	±10%	1.9~2.1

※感度分析については、改訂第4版大規模公園費用対効果分析手法マニュアルの感度分析の考え方にに基づき、都市公園事業の影響要因として考えられる、需要:今後の公園利用者数及び世帯数、事業費の変動、事業期間とし、基本ケース値の±10%を変動幅とした。